

宇部工業高等専門学校校外発表論文等（抄録）

【学術論文】

「グローバル高専生」育成を目的とした短期留学生受け入れプログラム、畑村学、Journal of the Japan Society for Abrasive Technology (JSAT, 砥粒加工学会誌)、Vol. 64、2020年7月

特集「発展するものづくり教育—高等専門学校におけるものづくり教育」のなかで、本校の国際交流活動の特色の1つである短期留学生受け入れプログラムについて紹介した。特に短期留学生を英語や中国語の授業に教育実習生として受け入れる取り組みや、市内の教育機関にTA (Teaching Assist) として派遣し、留学生を通じて地域のグローバル化にも貢献する活動は、他の高専にない独自の取り組みとして紹介した。

【学術講演】

高専間・海外協定校連携によるオンライン中国語の授業、畑村学、2020年度中国地区高専中国理解・中国語教育研究会(函館)、2020年9月20日

今年度の宇部高専プロジェクト学習(学科学年横断型PBL)で実施した、台湾協定校のネイティブ学生を講師としたオンライン中国語の授業「しゃべチャイナよ中国語」に関して、その取り組みの状況および学習効果などを報告した。授業は事前学習用の動画視聴と、オンライン中国語を1セットとして行った。事前学習動画は、「中国地区高専中国理解・中国語教育研究会」のメンバーが勤務校である津山高専の授業用に作成したものをを用いた。学生は事前にそれを視聴し、その内容について、講師を務める協定校・文藻外語大学の応用華語系の学生によるオンライン授業を受講した。事前学習用動画や資料はoffice365のTeams上に授業teamを作成し、そこで行った。オンライン授業も同じくoffice365のTeams上で行い、全授業を録画した。全30回の授業の結果、例年以上に中国語のリスニング力、スピーキング力が向上していることが口頭試験により確認できた。

オンラインを活用した国際コミュニケーション能力向上の取り組み—国際交流活動と連携した宇部高専2020年度の活動、畑村学、Teaching Engineering classes in English (津

山高専)、2020年11月25日

宇部高専がコロナ禍で実施しているオンラインを活用した国際コミュニケーション能力を向上させる取り組みについて紹介した。4月下旬からは、低学年の学生を対象にしたオンライン英会話「ニーハロ」を、グローバルエンジニア事業で採用したマレーシア人の講師に依頼し実施した。7月から学科学年横断型PBL「プロジェクト学習」では、台湾協定校のネイティブ学生によるオンライン中国語を行ったが、12グループのうち8グループにおいて中国語に英語を交えて授業が行われた。10月からマレーシア・マラ工科大学との間で「NIT.UC-UiTM Student Leadership & Networking Seminar」を実施し、高専生17名、マラ工大の学生17名がグループで英語・日本語での交流を行った。オンラインによる交流活動は、コロナ収束後も、渡航できない学生の交流活動として、また渡航前後の事前事後研修として継続して行く可能性について報告した。